

千葉大学教育学部附属小学校においてボッチャ体験を実施します ～パラスポーツ交流を通じた共生の地域づくり～

稲毛区では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運の醸成や、多くの区民の皆様のパラスポーツへの理解と関心を深めていただき、共生の地域づくりと地域の活性化を図ることを目的に、区内各所でボッチャの体験会を開催しています。

この度、千葉大学及び千葉大学教育学部附属小学校のご協力をいただき、附属小学校児童の皆様にもボッチャを体験していただく機会を設けることといたしましたので、お知らせします。

1 趣旨・目的

子供たちが早くからパラスポーツに触れ合う機会を設けることで、将来にわたりパラスポーツを身近に感じ、興味関心を高めていく一助とするため、千葉大学教育学部附属小学校3年生の体育科の授業の一環として、ボッチャの体験を実施する。

2 日時

平成30年9月12日(水) 10:50～12:15

3 場所

千葉大学教育学部附属小学校 体育館
(稲毛区弥生町1-33)

4 対象者

千葉大学教育学部附属小学校 3年生児童 34人(予定)



昨年度実施したボッチャ体験会の様子

5 協力

ボッチャ同好会
(ボッチャ普及のため、穴川コミュニティセンターを拠点に活動する地域団体)

6 取材について

(1) 取材をご希望の報道機関の方は、千葉大学 企画総務部 渉外企画課 広報室
(TEL:043-290-2232)まで事前にご連絡ください。

(2) 当日は、体育館前に受付を用意いたします。また、自社腕章等の着用をお願いします。

<参考> ボッチャとは

ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目。

1面12.5m×6mのコート上で、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競う。競技は男女の区別なく、障害の程度によるクラスに分かれて行われ、個人戦と団体戦(2対2のペア戦と3対3のチーム戦)がある。